

出前講座一覽

No.	担当部署	テーマ	内容	担当職種
1	疫学研究課	がんについて正しく理解し、予防や検診・がん対策についての普及啓発を行います。	(1) がんとは（がんという病気の特徴について） (2) がんの統計（どのがんが多いの？増えているの？） (3) 一次予防について（喫煙対策・肥満対策他） (4) 二次予防について（がん検診及びがん医療） (5) 三次予防について（がんになった後、機能回復をはかり、社会復帰を支援し、再発を予防します）	医師
2	消化器内科 (内視鏡センター)	ご存じですか？ 食道がん・胃がん・大腸がんは、早い時期なら内視鏡で治すことが出来ます。	消化器のがんを早期に発見する精密検査の方法と、身体に負担の少ない内視鏡で行う治療の現状を分かりやすくお話しします。	医師
3		日本人の大腸がんが増えて います。	大腸がん検診の内容と内視鏡による検査がいかに有効か、そして上手な検査の受け方を分かりやすくお話しします。	
4	呼吸器内科	その咳だいじょうぶ??	なんだか咳が続いているな、ただの風邪だろう、と軽く考えてはいませんか？その咳、肺がんかもしれませんよ。肺がんになったらどうするのか、最新の肺がん治療について分かりやすくお話しします。	医師
5		がんを防ぐための『新』12か案。	がんは生活習慣病のひとつです。今日から誰でも実践できるその予防法を、専門家がわかりやすく解説します。意外と知られていない現代がん事情や、上手な医師との付き合い方など、お得情報も満載です！	
6	乳腺外科	乳がんから身を守りましょう！	乳がんから身を守るためには予防と早期発見、そして適切な乳がん治療が大切です。どのような生活スタイルが良いのか、マンモグラフィ検査の利点・欠点、乳がん治療のポイントについて分かりやすくお話しします。	医師
7	消化器外科 (大腸骨盤外科)	大腸がん検診で便潜血陽性と 言われたら・・・。	検診で便潜血陽性と言われると誰でも大腸がんなのではと焦ってしまいがちです。しかし、便潜血陽性となると大腸がんであるというわけではなく、実際には陽性の方の3~5%程度しか大腸がんはありません。大腸がん検診について詳しく解説します。	医師
8		日本人に多い大腸がん 大腸がんの最新の診断と治療 について。	大腸がんは、現在消化器がんの中でも最も多いがんですが、幸いなことに最も治りやすいがんです。その最新の診断、治療について解説します。	
9	消化器外科 (肝胆脾外科)	肝炎対策から始まる肝がん予防。 ーウイルスと生活習慣病ー	抗ウイルス剤の進歩により、90%以上のC型肝炎は治るようになってきており、それに伴って肝がんの原因は近年様変わりしてきています。肝がんにならないためにはどうすれば良いかを詳細にお話しします。	医師
10		肝がん？ 胆管がん？ 胆嚢がん？ 肝内胆管がん？ どう違うの???	肝臓・胆嚢はまだしも、「胆管」についてはあまりなじみがないのではないのでしょうか。胆汁の通り道である胆道（胆管・胆嚢）にもがんができます。これらのがんは、できる部位によって性質も異なり治療方針や手術法などを入念に検討する必要があります。この機会に胆道や胆道がんについて勉強してみませんか？	
11		腹腔鏡下肝切除は本当に危険？ 手術についての正しい知識を 身につけよう！	小さな創（きず）で行える腹腔鏡下手術には非常に大きな利点があり、通常は大きくお腹を開けなければ行えなかった肝切除術の分野にも腹腔鏡下手術が広まってきました。この術式について最近残念な報道を耳にすることがありますが、対象となる疾患や切除する肝臓の部位や大きさなどを綿密に検討することで多くのメリットを得ることができます。このような適応疾患や手術の内容などについて正しい知識を身につけてみませんか。	
12		膵臓がんになってしまったら。 - あきらめない膵臓がんの治療 -	膵臓がんは「非常にたちの悪いがん」との認識が広まっていますが、はたしてその実態とはどのようなものなのでしょうか。「膵臓がん」にも様々な種類があり、その進行度によっても治療法が異なってきます。一般に「進行がん」とされる状態でも周囲の血管などと一緒に切除できる場合もあります。また抗がん剤などを合わせる「集学的治療」も徐々に開発されてきました。膵臓がんと診断されても、まだまだあきらめる必要はありません！！	

No.	担当部署	テーマ	内容	担当職種
13	消化器外科 (食道胃外科)	最新の食道がん・胃がん治療 およびチーム医療。	食道がんおよび胃がんに対して行われる最新の内視鏡下手術について紹介します。また、当院では安心して安全に手術が受けられるようにさまざまな職種で構成されたメンバーによるチームが手術前後に関わっていきます。このチーム医療の実践を紹介します。	医師
14	泌尿器科	急激に増える前立腺がんにならない、負けないために！ 予防法からPSA検診による早期発見、各種治療法まで。	前立腺がんは今急激に増えています。かなり進行しないと症状が出ないのですが、『PSA（前立腺特異抗原）』という血液検査で簡単に早期発見することができます。早期に発見すれば手術だけでは無く多彩な治療方法の中から自分にあった治療を選べます。前立腺がん、PSA検査による早期発見、各種治療法から予防法まで、栃木県立がんセンターでの取り組みも交えて詳しくお話し致します。	医師
15	歯科口腔外科	口腔ケアって歯磨きでしょ。 そんなあなたは聞かなきゃ ソーン！？がん治療と口の トラブル。 (がん治療中の口腔ケア)	栃木県では平成25年度から平成29年度の「栃木県がん対策推進計画（2期計画）」に歯科処置や口腔ケアを受ける体制整備が盛り込まれました。お口の中はとても細菌が多いことをご存じですか？口腔ケアってどんなことなのか、がん治療とどんな関係があるのか、分かりやすくお話しします。	歯科 医師
16	病理診断科	がんの病理診断。 ～がん細胞が語るもの～	病理診断はがんの診断や治療に大切な役割を担っています。病理医の目からみたがん細胞の「顔つき」や聞こえてくる「内緒話」についてお話しします。がん診療における病理診断の役割やがん細胞の個性と治療法の選択について分かりやすくお話しします。	医師
17	がん予防遺伝 カウンセリング科	がんは遺伝するのですか？ あなかの娘さんがアザ・エルナ・ ジヨルだったらどうしますか？	がんは遺伝子の異常が原因で発症する病気です。一部のがんでは家族歴が認められ、遺伝子検査で原因を診断しあなたやご家族の予防や治療に役立てることが出来ます。家族性のがんの特徴と遺伝子診断について分かりやすくお話しします。	医師
18	緩和ケア科	「がん」に対処する日常生活の 過ごし方と健康管理。	がんになっても健康で元気に過ごしたいですね。そのためのポイントを分かりやすくお話しします。	医師
19		がんになっても知っていれば 安心。～緩和ケア～	がんが原因で起きる”痛み”は身体の痛みだけではなく、心や日常生活にも”痛み”は起きます。それは我慢する必要の無い痛みです。どのように対応すれば良いのか、分かりやすくお話しします。	
20	一般話題	放射線って何だかこわい！？ がんと放射線の関連について。	原発事故の後、放射線被ばくとがんとの関連が大きな話題となりました。しかし誤解も多いように思います。放射線とがんとの関係について正しい理解を深めましょう。	医師
21		がんの民間療法は有効？	がんセンターでは標準的な治療や最新のがん治療が行われています。ところが、がんに有効と称する食品、薬品や治療が巷には存在します。こういったものは本当に有効なのでしょうか。がん専門医の立場から説明します。	
22	栄養管理科	生活習慣の予防には食事が とても大切です。	がん・心臓病・脳卒中等の生活習慣病予防のための食生活のあり方をわかりやすくお話しします。	管理 栄養士
23	検査技術科	腫瘍マーカーでがんがわかるの？	最近よく耳にする腫瘍マーカーってなに？ 腫瘍マーカーを測ればがんがわかるの？ 皆さまの疑問に検査のプロである臨床検査技師が分かりやすくお話しします。	臨床 検査 技師
24	薬剤部	麻薬って怖い薬なんでしょう？	緩和ケアとは…病気に伴う心と体の痛みを和らげることです。 がんの痛みについて…痛みは我慢しないで軽いうちから治療しましょう。 医療用麻薬について…効果と副作用について正しく理解しましょう。 「痛みの日記」（県立がんセンター版）について…患者さんにしか分からない痛み等について医療者にしっかり伝えましょう。	薬剤師
25	医療安全管理室	楽しいチームワーク研修 チームトレーニングでOO JAPANに続こう！！	医療界で行われているチームワーク研修を地域や部活、会社で活かして下さい。職種・年齢・性別関係なく、チームとして成果を上げるコツをクイズやゲームで学びましょう。きっと、明日から強く優しくなれます！ そうそう、今日のトレーニングにスポーツウエアはいりません！！	看護師
26		医療者との対話術 安全のために病院の中で行われていることを知ると対話が弾む！！	病院の中では、いろんな部門がいろんな工夫で患者さんの安全を守ろうと努力しています。医療を受ける側の患者さんと力を合わせたらもっと安全が強化します。交通安全ルールを守るように医療安全ルールを考えてみませんか。実際にあった事例を紹介しながら医療者と良いコミュニケーションをとるコツをお話しします。	
27	看護部	乳がんの早期発見！ 早期診断！早期治療！ 乳がんは自分で発見できる ただ一つのがんです。	乳がんは自己触診（セルフチェック）で発見できるがんです。早期発見！早期診断！早期治療！。がん検診を定期的に受けましょう。乳がん早期発見のための自己触診についてもわかりやすくお話しします。	看護師
28		抗がん剤治療の副作用症状と 上手につきあう方法！	抗がん剤治療の副作用症状には辛い吐き気や脱毛、爪や皮膚の変化などがあります。特に脱毛や皮膚の変化で外出をためらったり、家にももりがちになったり…と精神的にも辛い抗がん剤治療。そんな抗がん剤治療の副作用症状と上手につきあう方法やアピアランスケアについてお話しします。	